



▲午後からはカラオケ大会。お父さんとお母さんのデュエットに盛んな拍手が贈られた。

# 広報伊方町

発行所 伊方町  
〒796-03 伊方町8-0211  
編集 伊方町  
総務課 豊稔社  
八幡浜市松柏 22-0144

### 今月の紙面

二面……高齢者訪問  
伝説「見浦のからと様」  
三面……お年寄り番付  
故郷の思い出  
四面……統計調査にご協力を  
歳時記「紅葉」

## ふれあい広場で「うまかつたなあ」さつま汁

「うまかつたなあ……さつま汁」  
「あなたの歌もよかつたぜ」  
加周保育所保護者会（高野実会長）と教育委員会の共催で九月十二日ふれあい広場が開かれ、お年寄り・母親・保育園児の三世代が郷土料理教室やカラオケ大会などで楽しい一日を過ごしました。



【写真上】おばあちゃんも参加したゲートボール。  
【写真下】ママさんクラブは郷土料理を担当。

今年で三回目のふれあい広場は二見公民館で開かれ、二見地区のお年寄りと保育所のママさんクラブから合わせて六十人、それに加周保育所の園児三十六人全員が参加しました。  
午前中は、主におじいちゃんやゲートボール。おばあちゃんとお母さんは郷土料理教室。おばあちゃんの指導でイリコを使ったさつま汁、いももち、ツトどうふなどを作りました。  
お昼にはみんなで手作り料理の会食。懐かしい味に舌づみを打ち、午後からは歌や踊りで三世代の交流を深めました。  
「心配していた歌や踊りのコーナーでも事前準備もしていなかったのに、その場で積極的に協力いただきました。『よっしゃ、都々逸（どどいつ）やけん』」わたしらは三人で歌にします。など、続々にかくし芸が飛び出し時間をオーバーする盛況でした。  
今年には保育所の改築計画もあり、来年の三月までには鉄筋コンクリート造りの建物が完成の予定です。地域の皆さんとの交流を通じ、立派な施設にはない保育所の運営に努めたいと思っております。

### 次々に「かくし芸」

お母さんがたの行事は年々何回ありますが、お年寄りの皆さんの交流は年一回開いています。  
昨年までは高齢者学校との交流会で講演を開いたりしていましたが、今年は保護者会にも協力をお願いし、三世代のふれあい広場になりました。  
講演をやめ、ゲートボールや郷土料理教室を計画。郷土料理は懐かしい「さつま汁」といももちを作りました。もちろん指導はおばあちゃんがお願ひしました。  
心配していた歌や踊りのコーナーでも事前準備もしていなかったのに、その場で積極的に協力いただきました。『よっしゃ、都々逸（どどいつ）やけん』わたしらは三人で歌にします。など、続々にかくし芸が飛び出し時間をオーバーする盛況でした。  
今年には保育所の改築計画もあり、来年の三月までには鉄筋コンクリート造りの建物が完成の予定です。地域の皆さんとの交流を通じ、立派な施設にはない保育所の運営に努めたいと思っております。

## 子供と老人の事故防止

### 秋の全国交通安全運動

交通事故による死者数は、昨年、六年ぶりに九千人を超えましたが、今年に入っても、依然として増加の傾向にあります。  
今年一月から六月までの交通事故死者数は全国で四千四百十九人と、昨年の同じ時期に比べ二百四十五人（五・九パーセント）の増加となっています。  
死亡事故の内容を見ても、相変わらず子供とお年寄りが多く、とりわけお年寄りの犠牲者が目立ちます。  
クルマ社会の中で弱い立場にあるお年寄り、交通事故の巻き添えにするのは悲しいことです。  
今年も「秋の全国交通安全運動」が九月二十一日から三十日までの十日間行われます。子供とお年寄りを交通事故から守ろうが、重点テーマの一つとなっています。  
お年寄りの事故防止のためには、お年寄り特有の心理と行動特性を知ることの一つの方法です。主な三つを取り上げてみました。

#### 町内の交通事故

発生件数	(9月1日現在) 37件
	(8月……) 9件
負傷者数	3人
	(8月……) 0人

秋の運動期間中町内での主な行事予定は、小学生による交通安全パレード、保育園児による交通安全茶屋などを計画。  
また、カーブミラーの新設や交通安全旗の増設、交通指導員さんと交通安全協会による街頭指導も予定されています。八幡浜警察署でもパトロール、交通検問を重点に行います。事故防止にご協力ください。  
伊方・町見駐在所



湊浦公民館で行われた敬老会にはおよそ100人が出席。

# お年寄り一千四百人

## 多彩な催しで敬老の日祝う

九月十五日は「敬老の日」でした。長年にわたり社会に貢献してこられたおじいちゃん、おばあちゃんをいたわり、長寿のお祝いをする日です。この日、町内のそれぞれの部落主催で敬老行事が行われ、踊りやカラオケ大会など盛りだくさんの催しがありました。

また、九月十五日から二十一日までは「老人福祉週間」です。こうした週間は機会にお年寄りの福祉について関心と理解を一層深め、生きがいのある社会づくりに努めましょ。この行事も昭和二十六年に始まり、今年で三十三回を数えています。



東方閑臨 上島 竹松さん (加 周) 90歳



東方横綱 井田與之平さん (須 賀) 93歳

### 楽しみな読書

足が少し不自由なくらいで近頃は散歩したりもする。新聞や本を読むのが楽しみで、最近では鈴木健二さんの「氣くばりのすめ」も読む。事件や事故が多すぎるのや自然が破壊され季節の風情がなくなっていることを残念がる。

### 最近まで自転車

去年までは自転車に乗って九町へも出かけていたほど。まだ乗れるが、ケガでもしたら笑われるので今年から止める。毎朝欠かしたことがない奥さんの墓参りが日課。十一月の文化祭には「どじょうすくい」を踊ってみたいと張り切っている。



金婚式 長野 稔さん (河内) カメコ



米寿 竹本イチヨヨさん (須 賀) 88歳

### テレビが大好き

耳が遠くなって補聴器をしているほどで、病知らしめ病気もない。散歩がてら近くの畑へ行って野菜の手入れや草引きをしたり、毎日のんびり過ごしている。歌番組やドラマなど、テレビを見るのが一番の楽しみ。

### 実際は五十一年

実際は届出の日より一年以上も前に結婚していたとのこと。奥さんが十八歳のとき、同じ部落のすぐ近くから嫁ぐ。ご主人は戦争に三回召集を受け戦地でマラリアにかかったり、戦後は鉱山の落盤事故で重傷を負うなど生死の界を二度もさまよったという。

### 高齢化現象

厚生省が九月九日まとめた全国の高齢者名簿によると、九月末までに百歳以上になるお年寄りは全国で一千三百五十四人。内訳は、男子が二百六十九人、女子は一千八百五十九人。史上最高だった昨年より百五十四人も増えています。

町内でも高齢化現象が見られます。九月一日現在で六十歳以上の人口は一千四百九十九人。人口全体に占める割合は一六・二パーセントで、鳥津が三〇・三パーセントと最も高い割合を示しています。反対に最も低いのは仁田之浜です。今後は敬老の日にならぬ恒例の「お年寄り番付」を作ってみました。今年の高齢者は井上トミ子(豊之浦)で九十七歳。二年連続の横綱です。また、高齢者訪問を行いました。高年齢者訪問を行いました。皆さんともお元気です。

## 中元さん(仁田)らに 米寿で赤座布団と祝い状

今年数えて八十八歳(明治二十九年生まれ)で米寿を迎えられたおじいちゃん、おばあちゃんおめでとう。記念に、県知事から木盃、町から赤座布団とお祝い状を贈りました。今年が次の十三人(昨年十二人)のかたがたです。

- 山口平太郎(河内)
- 松本チトセ(湊)
- 橋沢浪太郎(湊)
- 角井 ユキ(湊)
- 清水 スエ(小中浦)
- 清家 宗市(龜浦)
- 竹本イチヨヨ(須賀)
- 高内ラモリ(久保)
- 武内 ミカ(久保)
- 竹場 ソメ(田之浦)
- 鳥津 若松(鳥津)

部落名	人数	人口割合	部落名	人数	人口割合
大 浜	111人	15.7%	奥	43人	15.3%
中 之 浜	49人	16.3%	向	45人	14.7%
仁田之浜	65人	12.2%	畑	69人	20.9%
河 内	73人	15.9%	須 賀	53人	17.7%
湊 浦 一	137人	12.0%	久 保	36人	20.3%
湊 浦 二	22人	22.7%	西	41人	18.0%
小 中 浦	37人	15.0%	二 見	33人	19.9%
伊 方 越	27人	17.2%	加 周	29人	15.5%
龜 浦	32人	17.8%	田 之 浦	66人	22.5%
中 浦	53人	14.3%	古 屋 敷	34人	24.8%
川 水 田 一	133人	18.8%	大 成	32人	19.6%
川 水 田 二	30人	15.5%	大 鳥 津	46人	30.3%
豊 之 浦	113人	13.0%	合 計	1,409人	16.2%

## 民話と伝説

原 作/伊方町誌 補 挿/岡村 豊 絵/宇都宮利久(前伊方小教頭)

### 二見浦のからと様

#### 二見

この部落はなあ、伊方町大字一見本浦いいますか。昔は、九町浦と二見浦に庄屋があつて村を治めていたようすな。これが二

見の二宮庄屋の歴史地です。正面の五輪塔はりっばなでしようが、この上の段の畑の隅に、ほれ、塚がありましようがな。これですら、これが、人よんで「からと様」と言うとりまよが、藩時代の初めころやろか、二宮庄屋の前は武士から庄屋になつたといわれる人が二見浦を治めとつたといひます。この人は、お恵み深い心の人じゃつたそうで、よく百姓をいたわり、めぐんでいたそうですら。ある年のこと、一人の百姓が海岸に流れ着いた大きなクスノ木を、だれのものやらわからぬでな、何か

の用に役立てようと海浜に深く埋めておいたがじやそうですら。ところが、しばらく後になつて、それが官物と知れ、その藏匿(そうとく)の罪をきて庄屋は首を斬られたそうすら。その百姓は、いたか悲しみ、自分の身代わりになつた庄屋の塚を築いて厚く葬り法要してあげたと伝えられております。また、一説には、城主得能主膳が長崎城を増築せんとして、その用材のクスの木を九町と二見本浦の海浜に蓄えておいたのを、二見の浦長(後の庄屋)「からと様」は、百姓たちの難儀を思つて、しばらく増築の計画をやめよう主膳にお願いをしたらしいですら。それも聞き入れられず、しかたなくこの用材をここに

蔵匿するために打ち首にあつたといひます。そのためか、二見の浜や加周の浜には、近ごろまで大波のときなどには、クスの木が現れていたといひます。また、九町の長崎城の城跡といわれるところからクスの木を見たことがあるといひます。部落の人々は、この塚に近寄ると体体に「ほろせ」が出るといひてお参りする人も今はありません。また、この塚や二宮庄屋の墓地付近には、前から白い蛇が二匹おるといひます。二見の庄屋跡近くにあるこの塚を、知らん人も多かろうと思つたすら。この「からと様」は、村の百姓のためになつた人やけし、ときときはシキバをさし、線香をたむけお参りしてあげてはいいがな。



からと様 現在、二見の岩井順久さん宅西側に高さ70cmほどの石造りと思われるお室が残っている。

# 町内一は井上さん

(豊之浦)

今年もお年寄り番付を作ってみました。町内一の長寿は、井上トミさん(豊之浦)で97歳でした。



東 方 (男)		西 方 (女)	
氏 名	年 齢	氏 名	年 齢
井田與之平	93	井上トミ	97
松岡惣之丈	92	川内ハツノ	96
上島竹松	90	佐々木サノ	96
青木松之助	90	高橋フジエ	96
三根生伊勢松	89	古田タ子	96
増原 實	88	久保タヨ	95
山口弥右エ門	88	市末ミヨ	93
由中芳久	87	神野イセヨ	93
中田與一	87	小泉ミヤ	93
清家宗一	87	岩井チドリ	93
島津若松	87	藤川タツヨ	92
松澤太郎	87	前田サオ	92
山口平太郎	86	山口イノ	91
古田玉春	86	渡辺キトノ	91
二宮形吉	86	宮崎チヨノ	91
大成金右衛門	85	上野タニエ	90
徳田 稔	85	矢野カズエ	90
上田辨三	85	稲月チエ	90
得能三太	85	田口シズエ	90
塩崎頼兼	84	登口ヲカヤ	90

※ 紙面の都合で男女ともベスト20位まで掲載いたしました。いずれも9月1日現在で調査したものです。 —敬称略—

## 故郷の思い出 (16)

川縁栄一 (奥出身)



【現住所】  
ブラジル・サンパウロ州  
エステラドール

## 地球の裏側から故郷の発展祈る

わたしは昭和三十三年五月二日午後四時、二十八年間過ごした懐かしい故郷を後にし、自由の新天地を求めて地球の裏側(日本から見ると)の地ブラジルへ、ブラジルの土に成る覚悟で渡伯いたしました。あれから二十六年の歳月を当ブラジルの地で過ごしました。その間、渡伯して十九年

目下当たる昭和五十一年(一九七六年)九月、両親が入院しているのを知り、年老いた両親に、また両親や兄弟がお世話になったり、わたし自身が九町に住んでいたときに指導いただいたかたがたにお礼を言いたいと思ひ訪ひました。ブラジルは日本の約二十三

生活していたころからすると少しは広くなっていることがわかりました。しかし途中、バスやトラックが見えたら、その辺の軒下に入り込み、通り過ぎるのを待ってから歩くといったありさまです。訪日当時の何日か、は、歩く勝手がちがったように、目的地まで行くのに気をも

品評会のとき(九町小学校)には百年後の町見村と題して模型を作って展示したこともあり、百年後の町見村を描いたものうち、住宅以外はすでに達成されたという感じがうかがえ、故郷の発展に目を見張るものがあり最上の喜びでした。

## 手に手を取り五十年

### 今年は十八組が金婚式

結婚して五十年。今年金婚式を迎えられた「おしどり夫婦」が町内に十八組(昨年十六組)あります。昭和九年に結婚されてから、互いに手と手を取り合って仲むつまじくこれたことでしょう。おめでとうございます。おめでとうございませう。

記念に、町から金盃とお祝い状を贈りました。

井上松満・チエ子(須賀浜) 浜田巳之作・ヒデコ(西) 渡辺政助・スナコ(豊之浦) 長野 稔・カメコ(河内) 小川文一郎・冊子(湊) 二宮磯好・マツエ (仁田之浜) 山岡盛一・タマエ(田之浦)

## 健康老人は四十二人

今年も、町の国民健康保険加入者の中から「健康老人」が表彰されました。健康老人とは、一年間病院などで診療を全く受けなかつた七十歳以上のおじいちゃん、おばあちゃん、毎年敬老の日に表示しているものです。今年も、大浜の明神新造さんをはじめ四十二人のかたが

- (大浜) 明神新造・矢野友四郎
- (中之浜) 木下マサコ・宮本角
- (仁田之浜) 宮谷チヨ
- (河内) 藤堂九太郎・藤堂フジエ・藤堂クヨ
- (湊) 中田キヌ・山口壽子
- (小中浦) 石崎朝道・渡辺イチエ
- (中浦) 増原 實
- (川永田) 岡野タニエ・梶谷駒繁・菊池 茂
- (豊之浦) 河野太郎・林兼義・中田百歳
- (伊方越) 窪田ナ、エ・前田サオ
- (奥) 大澤アン
- (須賀) 亀田與平治・樹田万藏・三根生清一
- (久保) 久保ミツヨ
- (西) 二宮約定・林千代一
- (二見) 岩井フミ子・上田ツ子
- (加周) 重岡義政・古田ミツマ
- (古屋敷) 辻本照道・渡辺一明
- (鳥津) 竹上方安・鳥津高吉
- (大成) 大成金右衛門・塩崎キクヨ



新道九町トネル南側から見た九町・二見方面。

### 健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしています。

「どうもこの半島部の人にはかなり悪い状態にならないと病院にこない」ということをよく耳にします。保健センターでは、こうした手遅れにならないよう皆さんの近くへ出向き、よう検査や一般健康検査をはじめ成人病予防のための諸活動を行っています。これらの事業が少しでも皆さんのお役に立つために、是非とも協力いただきます。是非とも協力いただきます。次の四点です。

**問診票は必ず**  
検査前の問診票は必ず書いて持参してください。受付を待つ人が続いているのに白紙の問診票ばかりでは受付は混乱します。

**健康手帳の活用**  
健康手帳はご利用いただいているでしょうか。受診の際には手帳を持参のうえ主治医にご相談ください。四十歳を超えたらから

しだいに成人病が増えきます。そんなあなたを見守ってくれるのは健康状態を克明に記録している健康手帳です。

**受ける人は三割**  
昨年、町が行った検査の受診率は約三〇パーセント。受診の傾向を見ますと、受ける人は毎年、受けない人は毎年受けていないという両極端に分かれています。保健センターでは、今年から受診率の向上をめざし「はがき作戦」を始めました。胃がん・婦人がん・一般健康検査などの対象者には、はがきで直接検査のお知らせをさせていただきます。はがきを受け取ったら、まずご自身の健康管理について考え、是非受けてください。

**結果を生活に**  
検査を受けることによる効用は、検査結果による生活指導を医師などの専門家がから得られることです。したがって検査内容のほかに、病名や検査内容のほかに、日常生活の中でどのようなことに気を付け、どう生かしたらよいかということをおたずねしましょう。

健康な毎日を送るための最大の保証は、定期的な健康診断を受けることと合わせて、日常生活の中で生かす努力です。

検査の会場では、多少混雑していても最後の保健指導を必ず受けて帰ってください。

